

## 三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【高平小学校体育館：出席者数：38人】

日時：6月26日（土）15：00～17：20

発言者	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>今日の会の目的は意見交換という話でしたが、去年と何が違うのかを教えてください。</p> <p>まず会の目的というのは、去年したものが、びた一文反映されていないというのはどういうことかというのが率直な疑問です。</p> <p>スライド13、14が、僕は今日の会の肝だと思っています。なぜ詳細を資料に書いていないのですか。項目だけで詳細を書かないとわからないです。</p> <p>去年の総合計画のワークショップでも同じような話があり、三田市は人口減少します、もうニューノーマルで、新しいアイデアでいこうではないかというワークショップだと理解して私は参加しました。</p> <p>第5次総合計画が動いていると思いますが、第5次総合計画の議事録でも、新しいことをしていこう、三田はニュータウン、旧市街地、農村部のバランスだという議論になっていると思います。</p> <p>前回の意見交換会の話にもありましたけれど、完全に農村部に対してデメリットしかない、デメリットしかないというのはちょっと言いすぎですが、総合計画と一致してないのではないですか。去年の意見にもありましたけれども、まちづくり全体の中からこれをどう見めるのかというところをどういうふうにお考えなのか。もっと言うと人口減少は三田市全体の課題、日本全体の課題という中で、いつまで人口、人数をベースに話をしているのか。今はニューノーマルで、人数に頼らない議論をする時期ではないかと思います。今回乗り切っても、5年後また同じ話になります。</p> <p>去年の説明会で出された意見が20ぐらいあると思います。</p> <p>責任者である市長が来てくださって説明する機会がいつあるのかという話。まちづくり全体の課題の中の幼稚園再編ではないかという話。</p> <p>高平の人にとっては一番の注目かなと思いますが、なぜ志手原にするのか、なぜ高平ではないのかというところの納得がないという</p>	<p>今回の意見交換会の目的でございますが、昨年に各地域を回らせていただいて、この案に対しまして、さまざまなご意見を頂戴しました。そのご意見について持ち帰りますとお答えをしている部分は何個もありましたので、それについて改めてご説明をする機会を設けて、その上で意見交換をさせていただくというのが、2回目の意見交換会の趣旨です。いただいたご意見につきましては、受け取りまして、この再編計画案の内容について検証するということを想定しております。</p> <p>これからどうなるのかというところですけど、現在もこの再編計画は案のままです。</p> <p>去年の意見交換会で、いろんなご意見を頂戴する中でこの再編計画案の中に盛り込むべき事項もあるということは私たちも考えています。</p> <p>その内容として、安全確保や地域の活性化についてのご懸念等もいただいています。地域の皆さんとしっかりと前に進めていくというような内容については、この再編計画案の中に盛り込む必要があるのではないかと考えています。手続きもございますので、再編計画案そのものを変えていませんけれども、その内容については、市でも議論をしてみたいと考えています。</p> <p>これからのことですが、この2回目の意見交換会で、いただいたご意見につきましては、庁内で検証をさせていただきます。</p> <p>その後、市長の意思決定や教育委員会の意思決定等もありますので、今のところそのあたりについては予断を持ってお話することはできませんけれども、流れとしては、先ほど言ったようなことを踏まえて、そのことを反映させたこの再編計画案の修正案をつくっていく。それを総合教育会議にかけた上で、その中でご議論いただいて、それをもってパブリックコメントをする。それに対して市民の皆様のご意見を頂戴するといった流れになると考えております。ただ、今回の意見交換会の内容にも関わることですので、現時点でそのとおり進むと決まったものではございません。</p> <p>園区外からの子どもさんの入園、幼稚園のことをPRできてないのではないかというお話ですが、園区外の入園は平成22年度からの取り組みで、最近減ってきています。三田幼稚園では平成23年度の園児数が117人中、園区外から13人來られています。平成24年度は141人中16人で、だいたい16人、17人ぐらいの</p>

<p>のが去年の話だったと思います。</p> <p>人数に根拠がないという話でしたが、去年、人生を左右する出来事だと言われた方がいましたが、人生を左右する出来事に根拠がないではどう説明するのか。それは少し乱暴ではないかと思えます。</p> <p>保護者ニーズの確認。おそらく1歳から3歳保育というニーズはあると思いますが、それと今回の高平から志手原というのは別の話だと思うので、そこをごっちゃにして話をするのはやめてほしい。</p> <p>平成22年から園区外に開放しているという話だったと思いますが、これについて、どれぐらい広報をしたのかと、どれだけニュータウンの方はこれを認知しているのかというデータはないと言われていたと思いますが、市が園区外に開放しようとおそらく人、物、金をかけてやっているのに、それに対して調査していないというのはどういうことかと思えます。</p> <p>もっと言うと、私の知り合いが市役所の幼稚園の部署に行ったときに、公立幼稚園のブースがあったみたいですが、数年前からアップデートされてない。高平幼稚園のところの前が物置きになっていると聞きました。幼稚園を広報する気があるのかと思えます。</p> <p>今でなくてもいいのではないかという意見に対して、なぜ今なのかというところもご説明がなかったと思えます。</p> <p>高見部長が強調されていたのは、今回はあくまで案だという話をされたと思いますが、今でも案という理解でいいですか。この後、どうなるのかということをお教えください。</p>	<p>数字で推移しています。最新では、令和3年度は三田幼稚園の園児数89人中、園区外からは8名来られています。今年度の市立幼稚園全体では252人中、園区外は35人で、割合でいうと14%程度です。</p> <p>これは、広報が足りてないのではないかと感じられているのかもしれませんが、実際に選んで園区外から来られている方も一定数いらっしゃるのではないかと、私たちはこの数字を見中では感じています。</p> <p>高平幼稚園に園区外で来られている方でいうと、12人中1人と思いますが、申しあげたとおり、どれぐらい広報したかという話だけではないというふうに思っています。</p> <p>なぜ今なのかというところですが、人数に頼らない議論をといるところがありましたが、根拠がないというお話でしたけれども、例えば5人のお子さんで育てその後どうなったとか、10人のお子さんで育てどうなったとか、それについて数値化できるとかいうところは、正直なところ難しいかなと思えます。繰り返しになりますが、幼稚園を考えたときに、集団というところがまずあってだろうと思えます。</p> <p>高平幼稚園は今、12人ですが、そもそも12人の人数を目指して設置をしてきた園ではないです。たくさんのおさんがいていただいて、その中で、友だち同士で学んでいただくということを目指してきていたところではあります。</p> <p>ただ現実として人数が減ってきたというところではあります。高平幼稚園が20人規模でいいとか、10人規模でいいとかというようにところを考慮して設置をしてきたわけではありません。園児数の推移で、平成13年度は57人でしたが、平成23年、24年の約10年経ったところでは28人という状況です。これは決して私どもも望んでいるわけではなく、やはり人数がいて子どもさんたちに学んで欲しいと思っています。</p> <p>もちろん今、高平幼稚園に通わせていらっしゃる保護者の方々が、今の園の中で行われていることに対して、何かご不満をお持ちだとかいうようなことは、職員も一生懸命に取り組んでいると思えますし、地域の方も子ども達にいろんな経験をさせていただいて、園を盛り上げていただいていると思えます。</p>
<p>まず広報の件ですけれども、統合ということは最終手段とあって、やるべきことをやってからという意見があったと思えます。その一つが広報ではないですかという話をしています。</p> <p>ニュータウンの人がどれぐらい認知しているのか。みんなが認知しているけどやっぱり来ないというのであれば、まだ理由はつく</p>	<p>私たちが集団を確保したいというところ、集団の教育を前提としたときに、高平を認定こども園にする、あるいは他の幼稚園もそうですが、全部を認定こども園にするとなったときに、今園区内にいらっしゃるお子さんの人数、新たにつくる認定こども園としたときの園区内の人数はご覧いただいたとおりです。</p> <p>認定こども園にしたときに園区外の子たちも来て増えるのではないのかという</p>

<p>思います。市役所内の幼稚園のブース、私はこの目で見ていませんが、幼稚園の紹介コーナーがあまりにもひどいと聞きました。そういうことだと思います。だから、やることをやってからそれでも仕方ないから統合ということなら分かります。そこが言いたかったことです。</p> <p>去年、志手原ありきではないですかという意見と、高平に認定こども園をつくってほしいという、その案を複数、出していただいて、検討してほしいという話もあったと思います。そのあたりの議論はされましたか。</p>	<p>お話かもしれないですけども、それぞれの地域にある施設に既に通われていますし、そこに施設はある状況です。私たちが集団を確保することを考えたときに、全園を認定こども園化ということは、長時間の保育サービスにも対応していかないといけない。人材も確保してないといけません。</p> <p>その中では、場所として、高平なのかとか、志手原なのかとかいう議論はあるとしても、全園を認定こども園化するのは、現実的には難しいと考えます。</p> <p>ただ、なぜ場所が高平ではないのかというご意見をいただくというところは、その地域の方々のいろいろな思いがあると思いますので、私たちも十分にわかる場所です。</p> <p>広報のお話がありましたが、昨年そういうお声を聞かせていただいたので、市としましてもホームページを見やすいものになりたいと考え、公立幼稚園の市のホームページを更新し、園が取り組んでいる内容なども発信したいという思いで作直しています。10月に園児の受入人数が確定した中で、私たちも少なくなっていることを何とかしたい、公立幼稚園に来てほしいという思いもありましたので、入園の受付をしていることを2月の広報にも載せたところですが、人数としてはあまり増えていません。</p> <p>園区外のお話がありましたが、平成22年度から受け入れし、園区外からも来ていただいています。多いときであれば、69名や61名のおさんが来られていた年もありますので、ある程度は周知できていると考えています。園区外から来られているお子さんについては、三田幼稚園、三輪幼稚園、広野幼稚園あたりが比較的近いということで選ばれていると思います。</p> <p>それからもう一点、誤解があるといけないので、先ほどブースのところが物置きようになっていたという話がありましたが、決してそんなことはないです。またぜひ見に来ていただけたら嬉しいと思います。できるだけ私たちも公立幼稚園の良さを皆さんにわかってほしいという気持ちはありますので、そこはお伝えだけさせていただきます。</p>
<p>今回の目的は、子どもに対して安心安全、教育の充実というところだと思います。安心安全、教育という軸において考えたとき、なぜ志手原なのか、なぜ高平ではないのかという点を知りたいです。</p>	<p>高平の地域の方々は、高平幼稚園のことを大切に思っているところも十分にわかります。これは高平地域の方だけではなく、志手原もそうですけれども、藍幼稚園、本庄幼稚園、広野幼稚園、小野幼稚園、母子幼稚園、どの幼稚園区の方もその園区にある幼稚園のことを大切に思っていると思いますし、自負するわけではありませんが、愛していると思っています。そういう意味でいうと、高平幼稚園区では高平幼稚園を認定こども園にしてほしいというお声が出てくるのも十分理解できます。</p>

		<p>ただ、認定こども園にして、これまでの午後2時までの幼稚園という形ではなく、長時間お預かりをするということは、就労されている保護者の方々の支援というところでは考えさせていただかないといけないところです。</p> <p>決して幼稚園そのものとして、志手原がいいとか、高平がいいとかという選択をしているわけではなく、保護者の方々が働かれていますのおおよその場所、就労場所を考えさせていただくと、市街地という方向に向くのではないかとということです。その中で考えさせていただくと、場所としては志手原という案をお示めさせていただきます。</p>
	<p>おっしゃっていることを私なりに理解すると、認定こども園化というのは子どもの安心安全、教育を第一に考えていますけど、場所に関しては、急に就労支援という軸で考えたという話ですね。</p>	<p>急にといいますか、子どもさんの学びと子育て世帯の支援というところが、再編の目的ということで、二つお示しをさせていただいています。その二つの観点があるということです。</p>
B	<p>資料集15ページで志手原はどここの区域に入りますか。</p> <p>三輪ということはより都市部のところを含んでいると思いますが、C分のAというのは、三輪がマイナス5.39%、高平がマイナス2.4%なので、減少率としては高平の方が三輪より弱いですよね。志手原地区単独で見れば、出生率もそんなに増えてないですし、高平より多いということはないので、志手原にする根拠はないと思います。就労支援ということを言われていたので、就労支援のための認定こども園だということをもっとはっきり言っていただきたいと思います。</p> <p>子どもの数の下限というのは法的には決められてないですし、科学的な根拠も絶対あるわけではないです。私たちの子どももかなり少人数で生まれてきていますし、幼稚園も行っていますので、その子どもたちが将来どうなるかというのは、長期の調査というのが行われていません。市長がよく子どもの集団の適正な規模の確保のためと、子どものためだとおっしゃるんですが、根拠はないのであれはやめていただきたいと強く思います。子どもに対してインタビューしたわけでもなく、基になっている文科省が使っている調査も幼稚園の先生たちや園長に聞いたデータですので、子どもが本当にどう思っているか、実際将来に協同的な学びをした結果どういう地位を得ているのかとか、学力にどう繋がっているのかというデータがない以上、そこを強く言われているのはおかしいと思います。</p>	<p>志手原は三輪地域ですが、三輪小学校区と志手原小学校区に分かれていて、三輪に含まれているので、志手原の部分だけの特性というのが抽出できていません。</p> <p>就労支援のための認定こども園ではないのかというお話だと思いますが、長期的に少人数の園にいらっしゃった子どもさんが、成長された後、言葉が適切ではないかもしれませんけれども、何か支障があったとか、何か明らかな数字が出ているわけではないということはそのとおりです。</p> <p>ただ集団規模の確保が大前提であって、先ほど就学前の子どもさんの施設の在籍状況を確認した中で、園区の中で市立幼稚園を選ばずに他の就学前施設に通われている子どもさんが一定数いらっしゃるという中では、もともと市立幼稚園は少ない人数を望んでいるわけではないので、認定こども園化で保育のニーズがある方も通っていただくことで、ある程度、人数が一定のものになって、子どもさん同士が学ぶ環境として、より良いものになるのではないかとということです。</p> <p>就労支援というところを全面におっしゃっていただけたらわかりやすいと思うので、そこは再編の目的のところでも明らかにしていけないかと思っています。</p> <p>市街化調整区域があることによって、一定の建築規制がある状況はもちろん承知をしております。ただ一方で、高平地域が市街化調整区域であることもそうですが、農村地域での農業振興ということで優良農地というようなところもあります。人口が増えていくために足かせになっているのではないかとご意見だと思いますが、これまでから皆さんが住んでいらっしゃるこの高平地域は、平成10年に市街化調整区域になってから20年が経ちますが、自然環境が豊かな状況が続いてきています。</p>

<p>正直に就労支援ということをお願いして、そのためにそこに必要なんだということをお願いいただいた後で、私たちとしては、やはり市街化調整区域の人数が減り続けているという問題自体は解決していないので、ここに住む人をもっと増やしていく手当てが必要です。</p> <p>今までそのことの手当てをされてきていない中で、なし崩し的に就労のために最も便利なのが志手原だというふうに決まってしまうのは、市街化調整区域をどうするかという議論をした後に決めていただきたい。ちょっと早すぎるのではないかなという気がします。</p>	<p>もう一つ、人口で見ると高平地域では、平成13年に4千人程であった人口が今は3千人で、千人程減っています。</p> <p>今、一世帯あたりの人口は3人もいない状況だと思います。仮に3人としても千人の人口を元に戻そうとすると、ざっと計算して300世帯ぐらい必要かと思えます。300世帯を受け入れるということになると、それなりの規模の開発ということになると思います。</p> <p>今すぐに市街化調整区域をどうにかして人口を増やしていくということは、正直しづらい部分もあります。ただ、平成27年だったと思いますが、いわゆる分家住宅、子どもさんが新居を建てられるときとかの要件を緩和することは一部なされているようです。先程申しあげたように何百世帯という方々を受け入れるような開発というのは難しいと思います。</p>
<p>市街化調整区域ではないようにしてほしいという意味ではないですが、高齢者の一人世帯が多いということは、将来そこは空き家になります。65歳以上ということは、先々20年ぐらいにものすごい数の空き家が出てきますが、それは300世帯分ぐらいあるかもしれない、今は身近な空き家をいろんな人に見に来られますが、その所有者がわからなくて交渉もできないとか、空き家だけ手放さないという人たちがいっぱいいて、農地の取得も簡単にされたというのでも知っています。空き家専用の人材を置いていただいて、きめ細やかにやっていけば、どんどん埋まる可能性もなくなっていくと思っております。</p>	<p>少し前のデータですけど、高平地域には60ほどの空き家があるそうです。若年層がどんどん出ていって、お父さんやお母さんが残っている。だから家は残っているけど、子どもさんはおらずに高齢者の単身であるとか、ご夫婦がお住まいになっているケースが多い。お住まいになっているので、なかなかそこにも入れないので、空き家はそんなになりに人口だけが減っているという構造がこの高平だけではなく、ニュータウンでも起こっています。</p> <p>それに対して、どのようにするのかということですが、今の段階で空き家ではありませんので、アプローチが難しい。ただおっしゃるとおり、これから空き家が増えてくる可能性がありますので、それについては市としても何とかしないといけないと思っています。それについての所管もありますが、地域の皆さんも、あそこは誰の家だとか、そのあたりの連絡がつくようになっていけば、割りとすつといくかなというふうに思っています。</p> <p>いずれにしても、若年層が出て行くと子育て世代が減っていくので、その下の子どもさんが減っていき、またその人たちの年齢が上って、また減っていくというような悪循環になっているのが今の人口減少のメカニズムとなっているので、そこを何とか止めたい。そのためには、今まで若者の方が就職や進学で出られている方もいらっしゃると思いますし、結婚してもここが選択肢になっていない方もひょっとしたらいらっしゃるかもしれません。</p> <p>私たちが思っているのは、働きながらも預けられるようなところとして、認定こども園をつくることで、PRになるというか、アピールポイントになるのではないかなと考えています。午前8時半から午後2時までのお預かりでは、働きながら子育てをするのが難しい方々も多くて、実際に今、ニュータウンや既成市</p>

		<p>街地まで送ってらっしゃる方も多くいらっしゃいます。それらのことを考えましても、その方々が新しくできる認定こども園に、あるいは、今お住まいになっていないけれども戻ってきてここで子育てしてくれないかというような形でお声掛けをしていただく、そういった地道な取り組みが結果として人口減少を抑制していくのではないかという考え方もあります。</p> <p>開発をして人口を増やすというのは、先ほどの人口ピラミッドでニュータウンを見ると、飛行機のようになっていた形が、令和2年には、その下の山がなくなっています。ニュータウンの宿命というのは、そういうところもあります。</p> <p>一度に増えると、子どもが成長して家を出ていってしまって、空白になってしまうということもありますので、時間をかけて少しずつやっていくものとして、市街化調整区域の規制についての検討も今、庁内でしていますので、そこも合わせて活性化策というのは考えていかないといけないと考えています。この認定こども園の取り組みが一つでも前向きな要素になるといいなというふうに考えています。</p>
C	<p>幼稚園教育には一定の集団が必要ということですが、その根拠もはっきりしていないし、中学校も高校も小学校も幼稚園も少人数学級の良さというのがあるはずですけど、市教育委員会では一言も語られることがないです。それも加味していかないといけないと思いますし、大人数の小学校から亀岡の小学校に転校してきた子どもさんは、少人数学級で何年間か過ごすうちに、みんなと触れ合う機会が多いし、自分の意見が言えるような場面も多いし、大人数のところではとてもついていけないという思いで悶々としていたのがすごく変わったということで、こういった学校が素晴らしいということを言われています。</p> <p>どんどん人口が減ると言いますがけれども、高平、母子、小野、志手原の今の場所に一つずつ幼児教育を残して、そこに保育の必要な就労の必要な人たちも受け入れるような両方を兼ねたようなものを各地域に残していくことで、三田の将来性もあると思います。幼稚園の人数が減ると書いてある数字ですけど、保育所に行っている子どもたちが本当は地域で子育てできたらもっと安定した、ご両親もそういったことにもなると思うし、そういった大事な時期に市としても予算をつぎ込んでもいいのではないですか。</p> <p>市教育委員会は少人数学級のことを一つも言ってくださらないで</p>	<p>小学校の少人数学級、亀岡の事例もお話いただいて、少人数の中で学力がというお話もありましたが、幼稚園の子どもたちの集団が必要というところでは、何か能力といったものが、数字でこうなるというところを計るということではなく、集団の中に子どもさんがいらっしゃる状況をつくっていく。それは多くの同年齢の子どもさんと関わっていく、その多くのところですが、今回も望ましいのは15人という下限にしていますが、これも決して多い人数ではないと思います。</p> <p>園区で保育所に行ってらっしゃる子どもさんがどのぐらいかという話もありましたが、資料集に0歳から5歳の園区内のお子さんの人数を載せておりますので、その中で保育所に通われている人数は、そこで見ていただけたらと思います。</p> <p>2人でも3人でもというようなお話もあったと思いますが、実際に今、母子幼稚園は2人、小野幼稚園は3人です。私も今年、何度か見に行っています。もちろん2人でも3人でも子どもさんたちは楽しそうな顔をして、先生と一緒に過ごしています。私個人の意見だとおっしゃられるかもしれませんが、もう少し多くの子ども同士で関わる機会がもてないかなというふうに感じます。少ない人数で、地域の方も先生にも多く関わってもらって、愛情をいっぱいもらいながら育っていると思いますが、やはりもう少し多くの子どもたちとの関係があった方がいいのではないかと感じています。</p> <p>3歳や4歳で幼稚園に行くことの意味というのも考える必要があると思っています。2歳、3歳まではご家庭で温かい愛情のもとにお過ごしになっている、あ</p>

す。ものすごく良い点がいっぱいあると思いますが、口を開けば、切磋琢磨できる人数が必要だと。切磋琢磨がないのが将来駄目なのか、何かそんなふうにはばかり語られているというのも納得がいかないなと思います。子ども時代を大事に育ててもらったら、三田を愛する方がどんどん増えて、三田で暮らすという循環ができていくと思います。

自分たちが育ったときに4つあった幼稚園が1つになって、もっとも減るといふからどうなるのかと思いますし、それでも幼稚園も学校も残してくれたという方が子どもたちには響くと思います。その子たちが三田は良いところだということが実感できて、本当に50年、100年で日本全体が先細ると、日本人がゼロになることもあると聞きましたので、本当に恐いことだと思います。

三田だけが減るのではないので、日本全体を増やさないといけない。育ったまちが好きになるようなまちづくりが今できているのか。ちょっと心もとないのではないかと思います。

るいは、お知り合いのいる地域の中で成長されているというところだと思います。幼稚園というのは、ある意味、初めて異なるものといえますか、自分のことを知らない人たちに会う場ともいえます。そういう意味では、社会に出るための練習をする第一歩というところもあります。

幼稚園の先生は、社会に出て行ったときに、子どもたちが人間関係や社会との関わりの中で悩んだり苦しんだりすることのないように、自分を発揮できるようにという願いを込めて、いろんな環境をつくっています。これが6人ではいけないのか、15人がいいのかというようなことではありませんが、数が少なくなるにつれて、その多様な社会性を感じられる機会がどんどん少なくなっていく恐れがあるというのも事実かなと思っています。

そういったことを踏まえて、子どもたちが社会に出たときに、わたしたちがその子どもたちをずっと守るわけにはいかないということもあります。子たちが自分たちの力で社会を生きていくそのためにはどんなことが必要なのかというふうに考えて、幼稚園の中では教育をしています。

そういった意味では、家庭とは違う、あるいは地域とは違う学びをする場所ということになろうかと思います。その部分は、どこか線を引いて、ここからが家庭教育、家庭保育の延長というようなことではありませんが、持続可能性のことも考えて15人という設定をさせていただいています。

考え方といたしましては、あまり少なくてもいけないし、多すぎてもいけない。もちろん上限は35人や30人とかあります。その中で、例えば財政的にどうなのかとか、15人や5人という基準を設けるとなると、クラス編製の基準にもなったりします。5人がいいということになると、5人ごとにクラスをつくることにもなりますので、部屋や先生も全て用意しないといけないということも考えます。そうなる持続可能な幼稚園教育をするのが難しいということもあります。

もちろん幼児教育は大事だと思っていますので、お金はできるだけかけたいと思いますが、他のことにもお金が必要なことも事実です。幼稚園教育のお金を増やすと、その分どこかで減らさないということもあります。現状の中で何とかやっていく方法はないか、しかも子どもさんができるだけ集まっていたらいいような、幼児教育ができるような園にしたいということをお考えすると、今、お示めししていますような集約させていただいて認定こども園にするという方向が出てきたわけです。

全ての地域の幼稚園を認定こども園化したらどうかという意見もありました。資料に園児数とスタッフの人数も書いていますが、午前8時半から午後2時まで

		<p>でこのスタッフの人数です。これを認定こども園にして、午前7時から午後7時まで開けるとなると、このスタッフでは足りません。そうなる本当に持続可能であるのかということが心配されます。行政のサービスですので、持続可能であるということも考えながらやっていかないといけないということを考えますと、各幼稚園を認定こども園にするのは難しいと考えています。</p>
D	<p>この意見交換会が法令上に則ったものかどうかというのを確認したいと思います。三田市オンブズパーソン条例第5条に定めている市の機関は、オンブズパーソンから調査結果の通知を受けたときは誠実かつ適切に対応しなければならないという条項があるのはご存知だと思います。そのオンブズパーソンから来た調査結果の通知の中には、抜粋しますが、再度の意見交換会が一方的に案を説明し、それに対する意見を求めるといった形式的なものではなく、実質的な意見交換会の場となるよう、またこれまで開催した意見交換会で意見を持ち帰って検討した結果を踏まえた場となるよう、開催手法等を検討願いたいとあります。市はどのような手法を検討されたのかについて具体的に説明をお願いします。</p> <p>さらにオンブズパーソンは、パブリックコメントで意見交換会の手続き以外にも十分な協議ができるように多様な市民の意見を聞く方法を検討し、市民と十分に理解を深めながら本件、計画案の確定に向けて取り組んでもらいたいというふうに通知が来ています。</p> <p>一体どのような方法を検討されているのか、先ほどはまだ決まっていなかったから今後に任せるみたいなこと言われましたが、それでは、このオンブズパーソンからの通知を無視して、ダラダラと進めているということに聞こえてしまったので、大変心配しています。</p> <p>世田谷区の事例を見ましたが、たった一つの保育園を新しくつくる時に、区がしたのは、10回以上も市民集会を開き、市長も来て、意見を聞いて、市はこういう思いを持って、こういう理由でここに保育園を作らないと世田谷区は駄目なんだということを納得してもらえるまで自分の言葉で説明することを諦めなかったのです。</p> <p>今、各地で統廃合の問題、都心部では保育園がうるさいので新設が難しいという問題がありますけれど、成功しているのは、結局は市が本当の考えを、こんなに困っているという本当の気持ちですよ。その本当っていうのは、適正規模とか、大昔にどこかの大学の人が</p>	<p>オンブズパーソンからの通知の中で、協議をしていく手法で意見交換会だけではなくてというところのお話かと思えます。今、おっしゃられたようにそのところがもちろんあるわけですが、手法の検討というところで通知が出ていることと合わせて、これは本当のところどうなんだということが伝わらないから納得感がないというところを今おっしゃったのかなと思います。</p>



	<p>どこかのコンサル会社と一緒にあってつくった言い回しです。それを全国の自治体でこうやって採用しているだけです。自分で用意した言葉でないものを聞いたって住民は誰も納得しません。</p> <p>私たちは高平に何が何でも幼稚園を残してくれと言っているわけではないです。ここでは反対意見が多くあったというような感想をお持ちですが、反対しているのではなく、市が何を考えているのかわからないのです。私たちはこんなに考えているのに、どうしてそんな訳のわからないことばかりで、何が何でも高平幼稚園をなくさないといけないと言われるのかが納得できていないのです。</p> <p>納得するには、お互いに本当の気持ちをわかりあえるまで話し合いたい、そういう機会を作ってくれというのがこのオンブズパーソンの調査結果の通知だと思います。</p> <p>市は本当にその開催手法を検討したのか。したのだったらどういう手法を検討したのか。今後、意見を聞く方法を検討しているなら、どのような方法を検討しているのかについて教えていただきたい。</p>	
A	<p>私の最初の質問で資料の詳細が肝だと言いましたが、なぜこの詳細を書かなかったのか。そこにもちょっと繋がるのではないかと思うので、こちらについてリマインドさせていただきます。</p> <p>意見交換会ではなくて説明会を開催しています。議事録には三田市立幼稚園再編計画(案)説明会と書いてあります。</p>	<p>法的には意見交換会の取り扱いでさせていただいています。説明会というご案内をして開催をしたところはそのとおりです。それについてどのように位置づけるのかというところが意見交換会だということだったと思います。</p> <p>この高平での昨年の「説明会」で、説明会というのは市民の意見を聞く手続きとしてどれに該当しますかという質問があって、それに対して意見交換会とお伝えしました。今回意見交換会とさせていただいたのは、説明会という説明だと案が取れて、説明するだけの印象になってしまうのはよくない、これは市政の市民参加条例の手続きに則った意見交換会であることを明確にするために行っておりますが、前回も意見交換会の性格であったということはお伝えしておきます。</p> <p>今、意見交換会以外の手法というところだったかと思いますが、オンブズパーソンの通知に書いてありますような方法について、具体の何かを持っているわけではありませんが、今こうやって意見交換会を開催し、いただいた意見をどのような形で計画案に反映させていくかというところを検討していかなければならないと考えています。</p>
D	<p>市民意見を聞く手続きについてどういうものを開催するか手法を検討してくださいという通知です。その手法を検討してないのだったら、これから開催するということですか。</p> <p>意見交換会手続き以外にも方法を検討してもらいたいという結果</p>	<p>繰り返しになるかもしれませんが、手法としては今この意見交換会を開催させていただいているのが手法というお答えになります。</p> <p>おっしゃっているのは、オンブズパーソンから来ている通知の中で、パブリック</p>

<p>通知ですよ。検討するのですか、しないのですか。</p>	<p>クコメント、意見交換会手続きなど以外にも協議会を設置するなどというところのお話ですね。協議会を設置するという点についても私も検討いたしました。協議会のメリットとデメリットというのは一体何だろうか考えたわけです。地域の中でそういった協議会を作っていただいて、この案件について協議をいただくということがその肝かなと思います、一体何を協議するのかということにもよると思います。まずこの再編計画の是非そのものについて協議をしていただく、合議体をつくるということですか、イメージとしては。</p>
<p>私がこのオンブズパーソンの通知から読み取ったのは、そういうことではなくて、市の考えと市民の考えをすり合わせる場所、つまり今、完全に表面的に対立しているじゃないですか。高平幼稚園をなくしたい、何で高平幼稚園をなくさない駄目なんだというので表面的には対立しているけど、両方で考えていることは基本的に同じです。農村地域全体でより豊かな幼児教育環境を作りたいというところでは一致しているのに、どこをなくすとか、どこをなくさないということだけでもめています。</p> <p>市民は、いやこうでないと駄目なんですということを知りたい。市民は、配置をこういうふうにしなさいといけない、二つの園にしかまとめられないですという結果を納得できてないのです。</p> <p>だからこの協議会と言っているのは、どこに幼稚園を残すということを市民の中で協議する場ではなく、市の本当に考えていることを市民が納得し、また市民が本当に思っていること、本当はもちろん高平幼稚園に残したいでしょうけれども、それによって三田市は何を実現しようとしているのか。高平に幼稚園があることで良いと思うというのがあるからみんなは残したい。でもそれは、1回、2回しても伝わらないではないですか。みんなが長い論文を書けるわけではないですから、協議会という形ではなくてもいいから、ラウンドテーブル形式の集まりなど、開催の手法をよく考えてもらって、市と市民が本当に気持ちを通わせることができるような機会を用意してもらいたい。一方的に意見をやりとりしているだけだったら、結局はどちらも納得しない形で結果だけが残ってしまうということになるのではないかと心配しています。</p>	<p>私たちは公教育としての幼稚園を運営している立場の人間です。公教育としての幼稚園として私たちが思っているのは、集団による学び合う機会を子どもたちに作っておきたい、その環境を作りたいということです。まずそこについて皆さんと合意できるかどうかというか、私たちはそういうものをサービスとしてお示しをしたいということです。</p> <p>ただ、今までの午前8時半から午後2時までのこのサービスの提供の仕方では、ご利用いただいている方もいらっしゃいますが、その数がどんどん減っている状況です。こうなると私たちがしたい幼稚園教育は、なかなか子どもさんに経験していただけないという危機感があります。</p> <p>しかしながら子どもさんの数はどんどん減っている。これは民間との競争で減っているだけではなく、対象年齢の子どもたちが減っているのが大きな要因と思っておりますが、何とか幼稚園教育を本来の姿にしたいというのが私たちの第一番目の思いです。それを実施するための手法として、人的な資源などを集約しなるとなかなか難しいところがありますし、その資源を集約させていただいた后可以認定こども園という、割と長い保育サービスが提供できるということです。今のままでやるとなるとプラスアルファで人を配置するなど、なかなか出来ない状況がありますし、そもそも子どもさんが集まらないということもあります。私たちがやりたいのはそういうところです。</p> <p>皆さんが気にされているのは、その場所を高平にする、あるいは志手原にする、小野にする、母子にするということだと思いますが、それぞれの地域に行きますとそれぞれの方々がそういうご意見をお持ちになっているということです。高平が駄目だとか、志手原がいいとか、そんなことではないというのは先ほども申しあげたとおりですけど、我々が言いたいのはそういうことです。</p> <p>それが実現されるというのを我々が目指しているということで、その案としてこの再編計画を出させていただいているということです。</p> <p>それについて「高平の方がもっとこんなところだよ」とPRなどのお話もあり</p>

	<p>ましたけど、私たち行政の人間なので確実にそれが担保できるということが重要かなと思います。そのことを考えると、去年は5人いたけど今年0人だったというようなことでは、サービスの提供のクオリティとしてはあまり良くないということもありますので、できるだけそれが担保しやすいところとして志手原をご提案させていただいています。高平でこんなことができるという話もお聞かせいただいてもいいですし、ただ母子でも同じようなことを多分言われると思います。小野でも志手原でも多分言われるだろうと思います。</p>
<p>住民の意見を聞いて、一体どこの部分を変えることができるのか、一切変えることができないのかということも知りたいですし、そういう機会が欲しいと私は強く思っています。私が聞く限りでは、参加者も市が言っていることがよくわからないという意見が多いので、一方通行の場ではなく、身近に市の考えや私たちの考えをやりとりできるような機会があれば、三田市のこういう政策を作っていくやり方の一つとして、今後にもとても良いことだと考えていますので、ぜひ検討していただきたいと思います。</p>	<p>参考までにお聞かせください。イメージされている意見交換のやり方ですが、思っていることを率直に出し合うという場合に、どんな場面といいますか、人数的なところもありますけれども、何かイメージされているところはありますか。</p>
<p>ラウンドテーブル形式にして、市の人はファシリテーターとして議論を活性化していただく。個人的な印象ですが、市民も地方自治に対してどういうことを発言したらいいのかというのが、少なくともこの前の意見交換会の議事録を読む限りでは、必ずしもみんながそういうことに長けているわけではありません。みんなが好き勝手なことを言っているだけであれば議論にならないじゃないですか。私たちはこういうことを聞きたいんだということを、市の側が中心に立って、ファシリテーターとして活躍していただくと市民はこういうふうに住民は自治に参加することができるということを学んでいくことができる。そういうような機会を作ってもらえると素晴らしいとイメージしています。</p>	<p>市はファシリテーターでというようなお話でしたが、そこに参加される方というの、今回の意見交換会はどなたでも参加していただけるということにしていますが、多くの方がご発言される場を設定していこうということになると、やはり多くの人数というところは厳しいのかなと思います。ある程度、参加者の数は限定的になってくると思いますが、それはそういう感じだと考えられていますか。</p>
<p>はい。そのかわり回数をこなしたい、地区ごとにするとか。</p>	<p>再編計画で場所をどこにするにしても、1か所にしないと資源的には私たちはできないということです。それを高平でお聞きするとか、母子でお聞きするとかという形にすると結局どこにするのという話をしないとイケない。</p>
<p>大丈夫です。住民を信頼してください。自分のとこでないのと駄目ということにならないです。中学校の検討会も結果を出しました。あんなに揉めていたのに、みんなで意見を丁寧に出し合ったら、きっと合意にたどり着けます。私はそういう結末を期待しているので、</p>	<p>繰り返しになりますけど、わたしたちとしては、子どもさんの豊かな学びのためには、一定の集団がいて、友だちを作って、仲間を作った中で育っていく環境を作りたいという願いがあります。その基準が15人から30人というふうにお出ししています。どこかにそれができたらいい。しかもそれが持続可能で、最もや</p>

	<p>なんか嫌なことになってしまったというのではなくて、どこかにできたとしても、私たちが考えて、納得して、私たちのこども園ができたという形にしたい。私たちも市もそういう努力をやってほしい。この計画についても思います。</p> <p>例えば、小野地区や母子地区ということではなく、下槻瀬や上槻瀬とか、もっと小さい地区単位で話し合いができればいいと思っています。</p>	<p>っていけそうなところに作りたいと考えています。そういった制約があります。それは、高平地域だけではなく、志手原にもあるし、いろんな地域にもまたがっている。その中で私たちは一つしかそういった施設であれば置くことができない状況ですので、皆さんが合意に達して、ここにしようかとなっていただけたらいいなと思います。</p>
	<p>我々が合意するのではなく、市と私たちみんなが合意する場を形成したいと言っています。</p>	<p>最終的に認定こども園をどこに設置するのかというのは、皆さんのご意見は当然、お伺いしますが、最終的には市なり教育委員会なりの責任で決めていかないといけないわけです。</p>
	<p>それはわかっています。今回の計画は、単に幼稚園を統廃合するというのではなく、今後の三田市の幼少児教育をどうするのかという計画でもあります。単にここに作ったら幸せですという話で終わらせるのではなく、市長も言われていましたが、農村地域で今後どういう幼少児の教育環境を作っていくことが大事なのか、どういう考え方が市にも市民にも必要なのかをこれを機会に議論して、みんなで共有できるようになることが一番のゴールじゃないかなと思います。単にどこに幼稚園を置きましょうというような話にとどまるような議論で終わせたくないと思います。</p>	<p>そのことも含めて、持ち帰って検討させていただきます。</p>
E	<p>新しくつくる認定こども園は、なぜ0～2歳の子どもを預かっていただけなのですか。</p> <p>市内に私立の認定こども園はたくさんあります。そちらではなく、市立の認定こども園に預けるメリットとか、私立は0歳や1歳を預かってくれるところがあるので、このままだと志手原まで連れて行くならニュータウンまで行くと私は思います。</p> <p>中途半端なものをつくるのだったら、私立に全部お任せした方が、市の財政的にも圧迫されないので、市民のニーズに合ったものをつくっていただきたいと思います。</p>	<p>3～5歳だけではなくて、0～2歳も対応していただきたいというご意見だと思います。今の市立幼稚園は3歳児からの保育ということで、それをベースに考えているところです。今後は0～2歳も考えていかないといけないと思いますし、私立と公立との役割分担という話が出てくる可能性があるかもしれませんが、今のところは、3～5歳を実施しているところをベースにたって、保育時間を伸ばしていきたいと考えています。</p>
F	<p>長男が年長のときに引っ越してきました。長男が年少、年中のときは人数の多い幼稚園に通っていて、同じ規模の幼稚園を探そうと思ったら、高平地区から往復で1時間、1日だと2時間かかるので、断念して高平幼稚園に入れました。子どもは3人も高平幼稚園に</p>	<p>回答は不要ということでしたが、高平幼稚園で不満がないということについて、誠にありがとうございます。通園バスですが、ご自宅で働いていらっしゃる方もいらっしゃるということですが、1号のお子さんとは、保育時間がずれるところが出てくるのかなと思います。これもご利用いただける時間が可能な場合も</p>

	<p>お世話になっていますが、不満は一つもありません。三男に関しては、私が働いているので保育園に入れていましたけれど、高平幼稚園に転園しました。それもやって良かったと思っています。違う人の話で、私立幼稚園に行っている人がいて、高平幼稚園に行かせたいけれども、その幼稚園は3歳から制服を買わないといけなくて、制服を買うと行けなくなるという話を聞いたことがあります。</p> <p>高平幼稚園に行きたくても行けない人がたくさんいると私は思っています。私は高平幼稚園に通える時間で働いていますが、そういう人もいらっしゃるし、家で仕事されているお母さんもいらっしゃると思います。2号認定になると通園バスが使えないと書かれていますけれど、使えるようにはならないのですか。時間がないので回答はいいです。</p>	<p>出てくるかもしれませんが、そこは具体の実施段階でご相談できると思いますので、いただいたご意見も考えさせていただきたいと思います。</p>
G	<p>この会は幼稚園のことですが、私が見る限り、ご参加されている方でこれから幼稚園に入る保護者さんはいらっしゃらないと思います。どうしてかお分かりになりますか。私は他地域から結婚して、ここに来ましたが、三田市も地域も新しい人に冷たいというふうに思います。</p> <p>この会が開催されるのであれば、例えば、生まれてすぐの子ども達がいる父親、母親に具体的に手紙を渡して、こういうことが考えられている、こういう会があるということを書かれたことがありますか。おそらくないと思います。回覧で回っています。</p> <p>私は親と別棟のため、親が回覧を回してしまっていて、私たちは回覧を見ません。地域のことは何もわかりません。</p> <p>この会は、実際に幼稚園や保育園に入ろうと検討されている方に話がいっていないと思います。それを確認するために私は来させていただきました。そういう方のお声を聞かれたほうがいいのかと思います。</p> <p>上の子は高平幼稚園に行き、下の子は保育園に行っています。上の子がなぜ高平幼稚園に行ったのかというと、正社員でしたが、親が65歳を超えていなかったため、入るところがありませんでした。高平幼稚園に入れましたが、すごく大変でした。下の子のときは、幸い親が65歳を超えていたので入れました。</p> <p>何が言いたいかというと、高平とかの田舎の待機児童率はおそら</p>	<p>ありがとうございました。就労されている子育て世帯への周知、保育事由のところの認定のお話、受け入れられるのであれば地元優先的というところ、それから0～2歳の需要といったところを聞かせていただきましたので、お声として受け止めさせていただきます。</p>

く高いです。なぜかという、家に祖父母がいて、農業されています。兼業農家で、60歳で退職して農業をされています。嫁側からしたら、一生懸命されている親を助けることができないではないですか。でも、保育園に入りたいのに入れられないのが現状です。

合併されて認定こども園ができて同じことが起きるので、その辺を解消していただきたいと思います。

田舎でおじいちゃん、おばあちゃんがいても、仕事をしていないという訳ではなく、その辺の配慮が全くされていませんので、しんどかったという思いです。

合併されて、親が共働きで就労している人がこのまま認定こども園に入れるかという、フラットに考えられるので、多分入れない。地域の子どもが入れるかという、そうではない。幼稚園の範囲で、3～5歳の1号の子どもは優先枠で入れるかもしれませんが、私たち就労者はフラットに考えられるので、いくら認定こども園をつくっても、それが高平の人口を増やすことには繋がらない。保育園に入れないので、結局離れていきます。

その辺のところはしっかり考慮していただきたいと思います。地元優先で確保していただけるのであれば、田舎のおじいちゃん、おばあちゃんは買い物に行くにも遠くて、ずっとお孫さんを見てられないのが現実だと思います。農業をされて、足腰しんどい方もいらっしゃるし、65歳枠とかではなく見ていただける環境がほしいです。

場所的な問題については、高平であれどこであれ、そこは市と皆さんで協議して一緒に考えていったら良いことです。私たち就労者としては、場所はどこは問わないです。言えるのは地元を優先してほしいというところと、待機児童がいるのに公立幼稚園の人数が少ないのは0～2歳がないからで、3歳まで仕事を休める会社はほとんどありません。3歳まで休んだらクビになります。3歳からの認定こども園をつくって何の意味があるのか。

0～2歳を入れていただきたいと思いますし、市のお金がおっしゃられるかもしれませんが、今ある場所というのは新しい私立の事業者が入ってきたい場所ではないかと思います。誘致したら良いと思います。新しく建てるとなるとすごくハードルが高いですけど、

	<p>せっかくある施設を誘致するという方法はなかったのですか。そのところをよくお考えになって今後話を進めていただきたい。</p> <p>今日はたまたま来れましたが、土曜日の午後3時は、就労者は子どもの習い事を入れたり、家の用事をしたりとかでなかなか来れないので、日中やられると困ります。そういったところで、意見を聞く気があるのかと思います。</p>	
H	<p>遅れてきて申し訳ありません。皆様方のご質問がたくさんあったと思うんですけども、3件ほどしか聞いておりません。今日は一つだけ確認したいと思ひまして、来させていただきました。</p> <p>皆様方、お手元に持っておられる三田市立幼稚園再編計画（案）ですが、これは議会をきっちり通っているからこそ、皆様方のお手元に届いていると認識しています。日本は民主主義国家で、三田もそうだと思いますので、議会で通ったものに基づいて市の職員の方々は説明をされているという認識をしています。</p> <p>来られている方々は再編計画案に問題があると思っておられると思います。この案自体に高平の皆様方は問題あると考えておられると私は思っていますが、この問題を行政に言っても仕方がないのではないかと思います。</p> <p>これを認めた三田市議会に問題があるのではないのか。市議会が通したからこの問題がこうやって皆様方のお手元に届いて、議論しないといけなくなっているのではないかと思います。高平にも志手原にも議員さんはおられますので、その方々に問題あるのではないかと伝えてもらわないといけなのではないですか。</p> <p>行政は市議会に通ったことに基づいて動くと思ひますので、その辺はいろんな意見があるとは思ひますが、行政に伝えてもなかなか曲がらないと思ひます。市議会のほうに意見を伝えてもらって、この案を変えてもらうように働きかけてもらったかどうかと思ひます。</p>	<p>この再編計画案ですが、議会の議決を経ているのではないかと踏まえたご意見ですが、この案自体は議決事項そのものではございません。つまり、議会の議決は経ていないということです。</p> <p>市議会の委員会には、この内容で地域の皆様にもご説明させていただきます、意見交換をさせていただきますということについてはご報告しておりますが、まだ議決をしているわけではございません。手続きとしましては、総合教育会議というものがあつて、その中でこの案で意見交換会をしてもらうようにとご預かりをしているものです。</p> <p>最終的には条例の案件にもなりますので、議会の議決事項、予算のことや幼稚園設置条例の改廃などもありますので、その辺りにつきましては、議会の議決が必要ですが、今のところは議会の議決を経たものではないということをご承知おきいただけたらと思ひます。</p>